

男性の育児休暇 について

機
械
工
学
科

長野工業高校

臼井大紀

小林瑛大

テーマ設定の理由

- 女性は約八割育児休暇取れるのに何で男性はなぜ一割も育児休暇がとれないのか気になったから。



現状



- 2016年
- 男性の育児休暇率3.16% (女性は81.8%)
- 2021年
- 男性7.48% (女性83%)

(厚生労働省)

問題点

- 2016年と2021年の男性の育児休暇取得率を比較すると、大幅な増加が見られない。



今後の課題



- ジェンダーギャップをなくす事で男性も十分に育児休暇を取ることができる社会をつくること
- 雇用機会や賃金の不平等を無くす
- 暴力・虐待による被害を減らす
- 男性自身が育児休暇を取る意識を持つ
- 会社側の代替え要員の確保

SDGS実現のための**10**代からの提言

- 男女の格差を無くし、ジェンダーの問題を解決することが国の発展にもつながると考えられている。そこで、企業は男性の育児休暇取得について意識を変えていくことが大切だと思う。